

広報



しらす

昭和57年

12月号



村の史跡シリーズ

③ 浜の明神跡 巖島神社の分霊を祀った所といわれる

# 放任やめ社会環境を浄化しよう

## 百二十人が活発な意見交換

市民総ぐるみで青少年の健全育成を図ろうと、二月五日、コミュニティセンターで青少年健全育成村民集会所が開かれました。  
 集会には学校関係者やPTA、婦人会など団体関係者約百二十人が出席し、活発な意見交換が行われました。



青少年の非行を防ごうと村民が意見交換

研究協議に先立ち、野辺地町教育長若山好美さんが「青少年健全育成と地域社会の役割」と題して講演。親子、教師と生徒のあり方は自然を保つべきである。また「平等」をはき違ひ、礼儀が失われていくところに非行が芽生えてくる。多くの人は人間として一番大切な忘れ物をしていく——などと、わかりやすく話し、関心を集めました。

続いて研究協議に移り、二つの部会で話し合いが行われましたが、青少年をとりまわった社会環境については、都市部の自販機などもなく、それほど問題はないが、あいさつが忘れてしまっている子供達が多く、人間的なつながりがないのであいさつ運動を推進するためのモデル地区を設けて全村的に広め、青少年に与えるべき——という意見が大勢を占めました。

一方、学校教育と地域、そ

して家庭の役割については、最近、県内各地方で、高校生

の非行がエスカレートし波紋を投げかけているが、市浦村の場合も例外ではない。とにかく抑えのきかないようなものがまなまな生徒が多くなっている。家庭ではしつけの面にもっともつと手を加えてほしい——という教師の声。また、ス

ポーツなど部活動をしていない生徒は非行につながるのではないかというPTA会員の話や母親が働きに出て子供を放任するようになっただけ、非行へ走った子供のケースなど活発な意見交換が行われました。

また、中学校の寄宿舎は教育的見地からどうなのかについては、厳然たる目標を持つた寮とは違い問題が多い。しかし、非行防止のためには規律や協同の精神を体得させることも必要だし、それが健全育成にもつながる。という

意見もありました。  
 最後に①家庭、学校、地域の連携をより一層強める②明るく健全な家庭づくりを進める③青少年に有害な社会環境の浄化活動を推進するの三点を進めていくことを確認しました。

青少年の主張コンクール入賞者は次のとおりです。  
 □最優秀賞 市浦中三年亀田友治 □優秀賞 市浦中二年中居恵 □佳作 金本高相 内分校二年沢田清文、市浦中一年桑野紗織、相内小六年岡本香織

## ◆青少年健全育成村民集会所

表紙によせて

### 湊神社・浜の明神跡

十三任末に「浜の大明神を拝し奉れば養を並べ玉羅立御みて殿るに神殿の床十余丈遠く鳥居を立て厭の間切石を畳みて瑠璃殿に翼ら

を救はん為俊にも瓦礫塵砂に身を交へ風波を海岸に担いて跡をたれ給ふこと寔に悲願町敷き霊地なり」とある。

主匠王の善願跡を垂れ給ふ事歳久しく十二天願の綱を法界の海に張り無縁の群衆

四) 安倍十郎高恒が「十一、浜の明神に伊都伎島(巖島)神社の分霊を祀り平氏の印許を受けて成棟し同年十月

十三日、浜の明神に平清盛、重盛、教盛、経盛は平氏の安葬を祈って発願文を捧げている。

現在、湊神社のある所がその跡だと伝えられている。かつて多くの佛像が町奉行の手によって佛掘され、いまの社は延宝四年(一六六七)四月建立されたものである。

十三部落から南へ四キロの地点にある。



▷49◁

# 神明宮

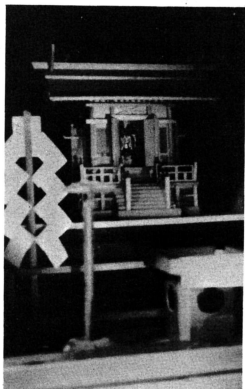
史の島根の光

(4)

## 末社羽黒宮初開

神明宮の末社に羽黒宮があります。神明宮神殿の向かって右手に鎮座なっています。

杜家留記によりますと、初代久次郎勢、宣代の万治四



神明宮神殿の向って右手に鎮座している羽黒宮

年(寛文元、西紀一六六一、去今三二年前)に十三町中で建立を願ひ出で、藩許を得て建てられたものです。四代藩主信政公の時です。

### その規模は狭小

神殿は東西南北三二尺四方と書かれていますから一平米に足らないもので、屋根は板葺きになっていました。それを保護するために雨覆

がかけられています。東西九尺、南北武間といえますから、約十平米位の規模で、やはり板葺きとなつています。

### 祭神は倉稻魂神

この神様の別名を宇迦之御魂神ともいい、大食津姫神(保食神)、豊姫大神、稲荷大明神とも同神だと書かれています本もありませ

御父神は須佐之男命、御母神は神大市比売です。宇迦は食、食物の意味で、上述のどの神様も私たち人間の食生活に関係を持っている神名ですので同神かもわかりません。

### 大食津姫神の死体から

須佐之男命が、この神様に食物を請うた時、姫神は鼻や口やお尻から沢山の食物を出して差し上げた山の食物は汚れた食物だといって怒りのあまり姫神を殺してしましました。それから、死体の頭から蜜、目に稲穂が、耳に粟、鼻に小豆、陰に妻、尻に大豆が生えた。そこで、神産巢日神がこれらを取って種子として植えたいという神話があります。五穀豊稔の神様たちなわけ

### 書いていることでもわかり

ます。また、羽黒湖沿岸東側から沢山の五輪塔の部分品が出土したり、滅水の時

### はいつか

今から一八〇年前に真澄翁(むかし)と記した。

### はいつか

はいつか

### はいつか

はいつか

### はいつか

はいつか

### はいつか

はいつか

### はいつか

はいつか

### はいつか

はいつか

### はいつか

はいつか

### はいつか

はいつか

### はいつか

はいつか

### はいつか

はいつか

### はいつか

はいつか

### はいつか

はいつか

書いていることでもわかり

### はいつか

はいつか

### はいつか

はいつか

### はいつか

はいつか

### はいつか

はいつか

### はいつか

はいつか

### はいつか

はいつか

### はいつか

はいつか

### はいつか

はいつか

### はいつか

はいつか

### はいつか

はいつか

### はいつか

はいつか

### はいつか

はいつか

### はいつか

はいつか

### はいつか

はいつか

### はいつか

はいつか

### はいつか

はいつか

### はいつか

はいつか

津津のこたわ

せの部

環の水、三尺流れればき

れいだ。流れる水は自浄作用

をもつ。最近公害で川が汚

染しており、自浄作用がな

った。

急ぐ男とはだる女は金

ならぬ。男は沈着に、女は優

雅であれという意。

節句より前日。節句の日

にこの馳走になるよりも、その

前日にこの馳走になる方が一段

と味わいがある。

切ない時の神頼み。常に横

柄であつても願すればかぶと

ぬ。

先勝ち馬鹿勝ち。先に勝つ

ても終りに負けることもある

銭口と首つけない奴ア話

ならぬ。金をにするにもまず

金、その金がないようでは話

にならないというわけ。

先生。馬の皮はき。教師を

いやしめたことば。一説には

教師と屠殺人は高給だったか

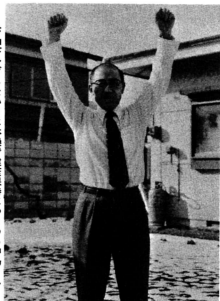
らという。

船頭ア余計だば舟ア陸サお

がる。中心となる純率者がな

くてやる仕事は失敗する。

尻サ目薬。見当違いの意。



中島 成雄さん  
(十三郵便局長・56歳)

ジョギングしない日は体操で健康保持につとめる中島さん

## 成人式へどうぞ

1月15日コミュニティセンターで

成人式は1月15日午前10時からコミュニティセンターで行います。該当者は、昭和37年1月16日から昭和38年1月15日までに生まれたかたです。

教育委員会で別途通知書を差し上げますが、名簿からもれているかたは至急お知らせ下さい。

- 相内** 鎌田圭子(好廣)、藤田佳子(敬)、三和雅子(平作)、寺谷武彦(武男)、山田金志(進)、三上利栄子(勝雄)、小笠原康仁(俊治)、工藤正子(鉄丸)、秋田谷龍吾(由市)、三和俊二(ウメ)、藤井巧(本人)、菅原康一(本人)、三和直樹(利一)、萬谷美奈子(勝則)、小寺昭直(由太郎)、柏谷美美子(利美)、**桂川** 秋田谷美知子(克春) □**太田** 奈良利美(利

彦)、木村夏子(昭一)

- 十三** 小倉学(十三男)、相川恵子(惣作)、高松康平(隆三)、中井慎二(資慈)、梶浦美雪(誠一)、松江信幸(きみよ)、宮崎綾子(重一)、**脇元** 葛西文子(定雄)、工藤綾子(勝則)、秋田義治(文雄)、石岡純子(修作)、三上智子(好雄)、渡辺祐一(敏昭)、三浦孝幸(昭治)、三和吉光(保)、山田登志夫(昭夫)、工藤久美子(誠一郎)、竹谷悦子(兼光)、山田育子(勝由)、**磯松** 成田孝(勝雄)、澤田奈保子(三太郎)、和嶋幸子(儀市)、新岡正継(千代治)、富坂静子(善吾郎)、伊南真也(幸男)、今康子(辰雄)、田中満(義雄)、古川牧子(政光)

## 除雪にご協力ください

路上駐車はやめよう

いまのところ降雪量は少ないものの、いつ、大雪になるか予想が付きません。

そこで村では除雪対策を立てていますが、除雪対策はなんといっても村民の協力によって除雪機械をフルに発揮した作業ができます。

かざられた除雪機械を効率的に動かすため、みなさんにつきのことについてご協力をお願いします。

■除雪作業は、交通量の少ない早朝に行われますので路上駐車が絶対しないようにして下さい。

■除雪車は右機械のため前方でも10メートル以内に入ると死角になります。作業中は30メートル以内に近寄らないで下さい。

■除雪車は右側走行しながら除雪する場合がありますから黄色の回転灯火した除雪車を見たら車は徐行してください。

除雪作業で、物がこわれたり、ケガ人がでたときは直ちに役場に連絡願います。

とくに物がこわれた場合、早急に報告されないと原因究明が困難になり保障の対象外になります。

が、仕事や家事の都合で誰も参加してくれないのでひとりで行って走らなくなりました。当分の間、小学校の早朝マラソンにも加わりましたが、この頃は雨の日以外欠かすことはありませんでした。しかし、余り無理しても逆効果になるので今年の三月から毎週火曜と金曜日の二回走ることに

ています。このためか、健康診断をしてもどこも異常がなく毎年風邪もひかなくなり、健康のためにこれからもジョギングを続けたいと思っています。

## ジョギングで健康を保持

朝の散歩と軽い体操は毎日のようにやっています。

へ行ったところ、先生から「余り乗らないから関節に油が通らなくなり、このようになる」と云われ、それからは犬を連れ朝夕散歩するようにしていました。公民館長を引き受けるようになった、朝のジョギングを一般に呼びかけました

初めの二、三回は足腰も痛みですが、すぐに何ともなくなり、その日にとつてはとても苦しい日もありますが、朝の空気はすがすがしく、走った後の汗は気持ちよく心から満足感を味わっています。雨や吹雪の日は走れませんが、それでも極力からだを動かすことにしており、

話題



叙勲者の功績たたえ

記念祝賀パーティー

自治功労者の叙勲記念祝賀会は12月7日、コミュニティセンターで行われました。

祝賀会は叙勲を受けた秋田谷久助さん、藤田弥男造さん、中井忠一さんをはじめ来賓80人が出席して行われ、白川村長、木村議会議長から「長い間地方自治の振興につくされた功績は大きい。これからも村勢発展のためがんばってほしい」と

あいさつがあり、叙勲者を代表して中井忠一さんが「これといった功績もないのですが、長いこと地方自治にたずさわったのが叙勲の対象となったのでしよう。これからも微力をつくします」とお礼の言葉を述べました。

続いて祝宴に移り、出席者の余興がでるなかで絡始なごやかな1日をおくりました。



亀田さん1級に

商工会球算検定試験

商工会の球算検定試験は11月20日行われ、受験者65人に対し合格者は31人で合格率は47%と低く、これまでの最低でしたが、十三小5年の亀田綾子さんが1級に合格しました。

- 1級 亀田綾子(十三小)
- 2級 松江賀子(十三小)、竹谷順子(脇元小)
- 3級 亀田幸子(十三小) 棟方全超、佐藤忠久(辻分球算塾)
- 4級 佐藤裕香(辻分球算塾)、古川芳久、古川正彦

- (太田小) □5級 三上千穂子、今井智之(辻分球算塾)、黒川えり(脇元小)
- 6級 豊島夏子、柳谷十和、佐藤忠、花島静香(十三小) 松村千保(辻分球算塾)、竹谷育子、黒川公美子、竹谷洋子(脇元小)、
- 7級 豊島忠、亀田由加子(十三小)、木村方昭、高田治子、成田鉄美(辻分球算塾)、奈良和徳、武田寿美枝(太田小)
- 8級 本荘千登世(十三小)、丸山信彦(太田小)
- 9級 山田浩美、秋田谷留美子(辻分球算塾)

お知らせ

■雇用保険認定日

毎週水曜日です

冬期間の失業認定日は、下記のようになります。認定日には印鑑を忘れず持参してください。

- 認定日 昭和57年12月15日から昭和58年3月30日まで。毎週水曜日
- 認定時間 9時～9時30分
- 認定場所 市浦村役場、十三出張所、脇元出張所

■年末年始は、労働者のコンピューターが休止しますので12月28日(火)～1月4日(内)まで五所川原職安では雇用保険業務は受付できません。

■「弥生時代の青森」

県立郷土館で特別展

現在の私たちの生活と文化は、弥生時代の稲作農耕を基盤に発展してきました。

しかし、東北北部に位置する青森県は、寒冷地のためイネの植物理学的环境からみて生育に多くの疑念が抱かれ、本県での弥生文化の成立は、これまで疑問視されてきました。

しかし、昭和56年と今年の南津軽郡田舎館村、垂柳遺跡の発掘調査で水田跡が発見されたことは、我が国における弥生文化の再確認と北方における同文化の存在を示したものであると思われる。

県立郷土館ではこれらを含め最近の本県における発掘調査資料を展示し、弥生文化の特色を紹介いたします。

- 主展示資料と遺跡 弥生式土器、石器類、炭化米など200点
- 会場 県立郷土館 大ホール
- 期間 昭和57年11月10日(金曜日)から昭和58年1月30日(日曜日)まで
- 休館日 原則として月曜日と月末は休館

■青森県最低賃金

2,858円に改定

10月20日より青森県最低賃金が改正され、10月28日から実施しました。

最低賃金額 1日 2,858円  
賃金の大部分が時間によって定められている者(時間給者)については、1時間 385円です。ただし、つぎに掲げる賃金は、最低賃金額の算定には含まれておりません。

- ①精覚手当、②通勤手当、③家族手当、④臨時に支払われる賃金、⑤1カ月を超える期間ごとに支払われる賃金、(賞与、期末手当など)、⑥時間外労働・休日労働に対して支払われる賃金及び深夜労働に対する割増部分の賃金。

免許証の郵送 交付について



佐々木 勉 (警察官・34歳)

みなさん、免許証の郵送交付制度について御在知ですか。いままでも免許証の更新で何人も警察署に足を運んでいたことと思いますが、これからは一度でよいことになりました。それが免許証の郵送制度です。これからは、優良運転者(過去三年間無事故無違反の方)や過去一年以内に特別講習を受けた方で郵送を希望される方には、免許証を郵送します。更新免許証の郵送希望の方は、免許証が確実に配達されるように、アパート名、〇〇方等と、受付する安全協会職員に教えて下さい。なお、郵送受付を申込んでも交通違反や事故の点数が取消し、または停止処分該当し、処分執行が終わっていない方、道路交通法上の免許資格者になつた方等には、郵送されない場合があります。

1月の保健だより

- 5日 PM1:30 妊婦健診 市浦診療所  
(対象・妊娠届出者)
- 13日 PM1:30 乳児健診 市浦診療所  
(対象・2~4カ月児)
- 21日 AM10:00 老人保健学級

コミセン

- 講話 「福祉とボランティア」  
講師 木造町助役中野潤先生
- 映画 「老人と健康」
- 健康管理あれこれ一保健婦
- フォークダンス指導

年末年始のゴミ収集

年末年始のゴミ収集についてお知らせします。  
12月最後の週は29日、30日の2日間と1月5日、6日の2日間特別に収集を行います。

年末年始の休診

年末年始の休診は次のとおりです。  
12月30日から1月2日まで、12月28日、29日、1月3日は急患に限り診療、4日は午後休診になります。

犬の放し飼いはやめよう

犬の放し飼いは他人に迷惑をかけるのでやめましょう。

健康への  
みち

▶15◀

食塩の取り過ぎが体によくない、といわれるようになってこの方、日本人一人当たりの摂取量は徐々に減ってきています。しかし、個々に見ますと、まだまだ取り過ぎの人が多く、ことも事実です。

日本人は塩味好き

昔から日本人は、他の国の人々に比べ、食塩を多く摂取していると言われてき

ました。これは、主食であるご飯につきもののおしんこやみそ汁をよく食べる上に、何でもよくゆをかけた食べるといふ日本人の「塩味好き」が原因と考えられます。

■塩分の目安は

一日10グラム以下に

最低必要量は3g

ところで、わたしたち人間にとって、一日1日当りの食塩の最低必要量は、およそ3グラムと考えられています。つまり、塩分は、人間の体にとって欠かせないものですが、激しい肉体

労働をする人など特定の仕事をすると人々を除いて、あまり多く取る必要はないという事です。  
一人当り13gも  
さて、日本人一人当りの塩分摂取量は年々減ってきて

ていますが、それでも、十三グラムも取っており、厚生省が目安としている一日十グラムを上回っています。  
加工食品に多い塩分  
一つには、インスタント食品や調理済みの加工食品が大量に出回っており、こ

塩分の代りに酢を

一方、ふだんの食生活では、味付けを薄めにするのと同時に、つけものや佃煮などを毎日食べる習慣をなくし、塩分の代わりに酢を味付けに用いるなどの工夫をして、塩分を控えるようにしましょう。

れらには思ったより多くの塩分が含まれている一そうした最近の食品事情を挙げることが出来ます。カップラーメン、ポテトチップス、ハム、ソーセージ、かまぼこなどには、日持ちを良くするためとか、隠し味などのため、それなりに多目の塩分が含まれているのです。

こんにちは赤ちゃん

三和秀夫さん 2女(脇元)  
みずね 佳澄ちゃん (1歳)



わたし、パンダちゃん大好きし。  
このぬいぐるみ、おとちゃんを買ったくれたの。おとちゃんも大好きし。

- お誕生日おめでとう
- 三浦 俊治 (相内) 31歳
  - 藤田 嘉志 (磯) 59歳
  - 三浦 裕二 (相内) 春夫
  - 後藤 裕 (相内) 武吉
  - 小川 優 (相内) 昇
  - 木村 友紀 (相内) 弘逸
  - いづまでもおしあわせに
  - 斎藤 昭弘 (弘前)
  - 工藤佳久子 (脇元)
  - 奈良岡光夫 (弘前)
  - 村上 佳子 (木造)
  - 藤本 義雄 (木造)
  - 米谷富美子 (相内)
  - 高橋 信博 (十三)
  - 松本 章子 (北海道)
  - 松本 宏志 (青森)
  - 奈良 由子 (太田)
  - 安田 一雄 (山口)
  - 木村 申子 (十三)
  - おくりやん上げます

戸籍の窓口

年末年始の交通安全運動

12月17日~1月10日

- 飲酒・暴走運転の追放
- 歩行者、特に子供と老人の事故防止
- 踏切事故防止
- シートベルト着用の推進

交通安全は「ゆとりと思いやりの心」から